

## 調査研究推進委員会セミナー開催報告

研究倫理・科研申請アドバイスセミナー

主催：公益社団法人日本語教育学会 調査研究推進委員会

日時：2022年11月27日(日) 12:40~13:20

開催形式：Zoomによる開催

参加者：最大27名

本セミナーには二つの目的があります。一つ目は、研究倫理に関する問題意識を共有し、調査研究の際に留意すべき倫理面の課題や、学生指導の際に求められる留意点について 会員の意識化を促すことです。二つ目は、日本語教育学分野での科研費(科学研究費助成事業)への応募、ならびに応募する研究計画の質の向上を図ることです。いずれも会員の今後の研究促進や科研申請に役立てていただくことを念頭に置いています。

当日は、セミナーを第一部「調査研究の際に留意すべき研究倫理」と第二部「科研申請に必須の注意事項」に分け、それぞれについての説明用の動画を視聴した後、動画に関する 質疑応答を行いました。

第一部では、参加者から二つの質問がありました。一つ目の「調査協力者への謝金は、いくらくらい支払っていますか」という質問には、委員が「大学の規定に従って支払っています。学生以外については規定の限りではありません。所在地の最低賃金を下回らないように金額を設定した方が良いのではないかと思います」と回答しました。二つ目の「所属先の研究倫理委員会から、自分が教えている学生を調査協力者としないようにと言われました。みなさんは調査協力者の募集をどのようにされていますか」という質問には、「心理学系の研究などでは、ある特定の調査に限らず、インタビューやアンケートなどの調査に協力する意思のある学生を確保しておき、調査実施の際にそれらの学生に募集をかけるというようなこともしているようです」と回答しました。

第二部では事前および当日の質問がなかったため、過去に寄せられた質問を二件紹介し、委員が回答しました。まず、「初めて科研費を申請しようと考えています。一人では不安なので、共同研究者を探そうと思うのですが、どのように探せばいいのでしょうか。」という質問に対し、本学会を含め、関連する研究領域の学会等を活用したり、「科学研究費助成事業データベース」やウェブ上で公開されているデータベース型研究者総覧である「researchmap」を活用したりする方法があることを説明しました。次に「研究機関には所属していませんが、科研サイトで、個人申請が可能であると知りました。しかし、手続きをしてくれる研究機関がないと実際問題としての申請は難しいようです。何かいい方法がないでしょうか。」という質問に対しては、「奨励研究」(研究助成)と「研究成果公開促進費」(研究助成ではなく成果公開に対する助成)があることを紹介しました。

今後こうした情報提供と共有の必要があると考えられるため、委員会の役割と可能性を考え、会員の研究活動の推進と諸課題の解決に役立てるよう企画の検討を進めていく予定です。

(文責：調査研究推進委員会)